平成29年度 事業報告

法 人 全 般

法人としての取組

■将来計画・構想

１．学園ビジョンの策定

建学の理念の基、加計学園の使命（ミッションステートメント）を明確にし、各設置校がビジョン、アクションプランを作成している中で、学園本部としてのビジョンを検討しました。

２．岡山理科大学獣医学部の設置

岡山理科大学獣医学部今治キャンパス開設につきましては、設置認可に係る再補正申請及び寄附行為変更認可申請の一部修正を経て、２０１７年１１月１４日付で認可されました。

３．三大学学長会議

本部・岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学の学長及び事務局長等による会議を毎月１回定期的に行いました。今年度は、ビジョンやアクションプラン策定や諸規程改正等を通じて、顕在化した教育研究、管理運営面の課題を検討しました。

４．グローバル化への取り組み

（１）ＩＢ教育プログラムの推進

（２）ＳＴＥＭ（ステム）教育推進

（３）留学生の積極的な受入れ

文部科学省主催のＩＢ説明会や設置校で開催されたＩＢ教育、ＳＴＥＭ教育の講習会並びにグローバル教育関連の会議や留学生との交流行事に出席し、グローバル化への取り組みを行いました。

■会計・監査体制

１．決算業務の移行

決算をはじめとする会計処理に関わる業務を財務部に移行したことに伴い、一括管理体制を構築するとともに個々のスキルアップに努めました。

２．業務監査の充実・強化

昨今の企業不正や不祥事を受け、経営倫理の観点から業務監査の強化が必要であることから、監査室における監査体制を再構築し、ガバナンスの強化を目指しました。また、計画的な監査と改善状況の追跡を行うことで、確実な業務の改善を図りました。

■教職員の人材育成

１．職員研修

階層別研修（初任者研修、一般職員研修、役職者研修等）を日程表(P.3記載)に沿って行い、建学の理念の実現を目指す職員の育成を行いました。

一般職員及び役職者研修では、各設置校より推薦を受けた職員が研修に参加し、研修終了後は、研修参加者が各設置校で報告会を行うことで研修内容の共有化も図りました。

No.	開催日	テーマ／タイトル	研修対象
1	4月1日	加計学園の職員として	新採用職員
2	4月2日	組織を高める コミュニケーション研修	新採用職員
3	6月1日	2017年度入試の総括及び 2018年度入試動向等の考察	学園職員
4	6月15日	サーバント・リーダーシップ研修　～新時代・リーダーの条件～	事務職員 役職者
5	6月19日	管理職基本研修① 「管理職の役割理解と 強いチーム作り」	事務職員 役職者
6	6月27日	真・報連相研修	学園職員
7	7月11日	KAKE 国際祭り	学園職員
8	7月25日	ビジネス文書と 電子メールのマナー研修	学園職員
9	8月26日	管理職基本研修② 「評価と人材育成」	事務職員 役職者
10	8月26日	思学塾	事務職員初任者他（採用1～2年目の者）
11	10月31日	総合危機管理セミナー	学園職員
12	11月17日	日本語弁論大会決勝大会 運営サポート	学園職員
13	12月28日	年末研修会 「異文化理解のために」 研修報告	学園職員
14	1月5日	年始研修会「新年を迎えて」	学園職員

２．進化する自己点検・勤務考課

職務を通して事務職員の事務能力の向上と人間性を高めることによって、人材育成を図るとともに組織力を向上させ、帰属意識の高い、活力ある組織作りを目的として、規程の整備を行いました。また、進化する自己点検・勤務考課シートの改定について検討を行いました。

■労務管理

１．メンタルヘルス対策

ストレスチェックによる教職員のストレス状況の検査について、安全衛生委員会において、対象職員の受検率向上及び職員のメンタルヘルスの保持・増進について検討を行い、今年度は１０月にストレスチェックを実施しました。

受検結果を踏まえ、健康管理センター及び衛生委員会等で集団的に分析し、職場環境の改善に繋げます。

２．女性活躍推進法行動計画の推進

２０１６年４月１日施行の女性活躍推進法に基づき策定した行動計画に沿って、女性が職業生活において活躍出来る環境の整備に取り組みました。２０１８年度に向けて、事務職員（女性）の管理職として新規に１名及び４名の昇進を行いました。

３．次世代育成行動計画の推進

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した行動計画（第３期）に沿って教職員が仕事と子育ての両立を図ることができる環境や多様な働き方の整備に努めました。今年度は、衛生委員会や会議等で有期雇用労働者を含めた有給休暇の取得促進に取り組みました。

■施設・環境整備事業

１．省エネルギーの推進

省エネルギー推進委員会の定期開催の実施及び省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めましたが、２０１７年度は原単位（エネルギー使用量を床面積で除した値）で対前年度比２．６７％増加したため、２０１８年度は１％削減を目標に、より一層、省エネに力を入れて取り組みます。

２．施設・環境整備

学生生徒及び教職員にとってより快適な学習、研究及び職場環境の提供に努め、今年度は、以下の工事を実施しました。

①岡山理科大学第１号館及び第２号館等を取り壊し、２０１７年６月より、その跡地に芝生を植栽し、いこいの場として学生等に解放しました。

②岡山理科大学第１０号館跡地を昨年度は駐車場に利用していましたが、今年度は地面をアスファルト舗装し、より一層、利便性を向上させました。

③正門前道路において、Ａ１号館新築等工事により破損したアスファルト舗装を修繕しました。

④岡山理科大学笹ヶ瀬テニスコート２面の修繕及び外周ネットの改修工事を行いました。

⑤岡山理科大学Ｃ２号館１階の一部を恐竜学博物館に改修しました。

⑥２０１８年度より今治キャンパスに岡山理科大学獣医学部が新設されることに伴い、２０１８年２月２８日付で管理棟、車庫、守衛室、エネルギーセンター、獣医学部棟、獣医学教育病院棟、排水処理施設、体育館、クラブハウス、ゴミ置場１，２の１１棟を新築し、水盤、駐輪場等の構築物も整備しました。

⑦ヘルスピア倉敷に氷上整備車ガレージを新築しました。

⑧千葉科学大学マリーナキャンパスに次世代型陸上養殖施設を新築しました。

また、クラブハウス棟裏及び薬学部附属棟裏に駐輪場を新設しました。

⑨岡山理科大学附属中学校･高等学校第一校舎に学内ネットワーク無線を構築しました。

2017年度防災訓練等実績

No	開催日	訓 練 実 施 対 象	内　　容
1	4月 7日	玉野総合医療専門学校	避難訓練・ 指定避難場所までの移動
2	4月20日	岡山理科大学専門学校薫風館	消火・避難訓練・防火講演
3	7月19日	千葉科学大学	地震津波避難訓練
4	8月31日	倉敷芸術科学大学	消火・通報・避難訓練・ AED取扱い講義
5	10月27日	本部・岡山理科大学(学生参加)	地震・火災避難訓練・ AED応急手当て等
6	11月15日	御影インタナーショナルこども園	消火・通報・避難訓練・防火の話
7	12月18日	ESG倉敷こども園	消火・通報・避難訓練

2017年度救命講習実績

No	開催日	研 修 対 象	内　　容
1	5月17日	附属高校健康スポーツコース	普通救命講習
2	6月 2日	岡山理科大学生物地球学科	救命講習会
3	6月11日	岡山理科大学附属高校通信制	普通救命講習
4	9月12日	岡山理科大学体育局	普通救命講習
5	9月17日	岡山理科大学附属中学教職員	普通救命講習
6	10月 4日	岡山理科大学教職員	普通救命講習
7	12月 8日	岡山理科大学留学生別科	普通救命講習

■リスク管理

１．防災計画の見直し

新学部創設等に伴い自衛消防組織編成を見直し、Ａ～Ｄまでの４地区隊にＡ１を新たに加え、５地区隊とし､災害時の役割分担を明確にしました。

２．災害対策

災害発生時に､自衛消防組織編成に定めた各自の役割が機能するよう、防火・防災訓練、救急救命講習等を継続実施しました。

学園防災対策委員会を６月１２日に開催し､火災・地震暴風雨等、危険物、交通、防犯の４小委員会から２０１６年度活動報告及び２０１７年度の取り組み等の説明があり承認されました。

■コンプライアンスの取組

１．瀬戸内海環境保全特別措置法及び水質汚濁防止法

３大学において、特定施設（流し）定期点検の実施・促進を行っています。

また、各種届出を引き続き行いました。

２．土壌汚染対策法

岡山理科大学１・２号館の建物解体に伴い、土壌汚染対策法が適用されるため、適宜、岡山市との協議を引き続き行いました。

３．水質汚濁防止法及び下水道法

３大学の最終排水口において排水基準値を遵守しています（毎月定期測定実施）。

４．建物における衛生的環境の確保に関する法律（建築物衛生法）

岡山理科大学Ａ１号館の定期的な水道水質検査を７月及び２０１８年１月に実施しました。

５．水道法

専用水道及び簡易専用水道の定期的な水道水質検査を行いました。

６．ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法

岡山理科大学１号館解体に伴い、新たにＰＣＢ廃棄物が発見されたため、法律に従い、２０１８年２月に処分を行いました。

■地域貢献・地域連携

１．包括連携協定

地域文化社会の発展と人材の育成等を目指すため、４月３日に倉敷市の公益財団法人倉敷考古館と包括連携協定を結びました。

２．地元企業・近隣町内会等との連携

地元をホームタウンとするプロスポーツクラブのファジアーノ岡山ＦＣ（サッカー）及び岡山シーガルズ（女子バレー）とのスポンサー契約や西大寺会陽への協賛並びに近隣町内会との交流等を引き続き行い、地域との積極的な連携を図りました。

■その他事業

１.ケンブリッジ大学英語検定機構事務局の設置

グローバル化への取組の一貫で、ケンブリッジ大学英語検定機構の事務局を学園内に設置し、岡山理科大学附属中学校･高等学校との間でケンブリッジ英語の授業サポートや教員研修などを実施できる合意書を締結し、語学教育の推進を行いました。また、ケンブリッジ大学英語検定機構認定の英語教授法資格であるＣＥＬＴＡのオンラインコースに岡山理科大学、岡山理科大学附属中学校・高等学校から各１名の教員が参加し、資格を取得しました。

さらに、岡山理科大学附属中学校・高等学校の英語教員１１名が英語教授知識認定テストであるＴＫＴを受講し、教授力向上を図りました。

国際交流関係

■教育交流協定校との交流プログラム

本学園は現在、１９カ国７３校の海外高等教育機関と教育交流協定を締結し、学生、教職員の交換、留学生やインターンシップ生受け入れなど多彩な国際交流プログラムを行っています。

既に四半世紀継続しているアメリカ学生研修団に対しては、岡山での滞在最終日に岡山理科大学スカイテラスにて「ＫＡＫＥ国際祭り」を開催しました。研修団や地域住民の方々、ホストファミリー、学園関係者など５００名以上が参加し、在籍留学生による中国、マレーシア、ネパール、パキスタン（理大ハラルレストラン）などの国際屋台が出店されました。

■第七回加計学園杯日本語弁論国際大会

第七回加計学園杯日本語弁論国際大会の地区予選を８～１０月に１１カ国計１５会場にて開催しました。これら予選で選抜された１５名の出場者による決勝大会を１１月１７日（金）に岡山理科大学にて開催しました。出場者は「もしも一つだけ願いが叶うなら」という本年度のテーマについて熱弁しました。最優秀賞には、スリランカ地区大会優勝者のラウィンドゥ・ウィクラマシンハさんが輝きました。

■第八回加計杯日本語弁論大会

学園設置校に在籍している留学生による弁論大会の決勝を１１月１８日に今年度は倉敷芸術科学大学にて開催しました。中国、韓国、スリランカ、マレーシア、ベトナム、ブラジルなどの国々の留学生が出場し、スピーチを行いました。

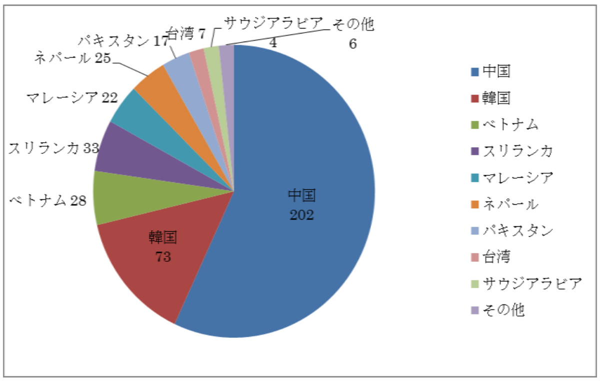
■海外支局長会議

今年度は１１月１７日に海外支局長ＴＶ会議を開催し、勉強会・報告会を通じて、海外支局長同士の連携を深め、活発な議論と情報交換を行いました。

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計　　画	予定
ｱﾒﾘｶ	受入:ライト大学仕事体験生２名（岡山理科大学） 受入:フィンドリー大学仕事体験生２名（千葉科学大学）	通年
台湾	受入:致理技術学院科目等履修生３名(岡山理科大学２名・倉敷芸術科学大学１名)	通年
台湾	受入:致理技術学院学生研修団	5/24～6/2
中国	受入:無錫技師学院(高校部)	6/11～6/18
ｱﾒﾘｶ	受入:フィンドリー大学学生訪日研修団４名 受入:ライト大学学生訪日研修団１０名	6/26～7/19
ﾌﾞﾗｼﾞﾙ	受入:パラナ連邦大学学生訪日研修団５名 受入:パラナ・カトリカ大学学生訪日研修団５名	6/26～7/19
中国	受入:上海交通昂立日本語学校	7/18～7/25
韓国	受入:慶一学園生徒訪日研修団	7/23～7/26
韓国	受入:韓国支局訪日文化研修団	7/26～8/3
ｱﾒﾘｶ	派遣:フィンドリー大学へ学生研修団	8/25～9/12
ｱﾒﾘｶ	派遣:ライト大学へ学生研修団	8/25～9/12
韓国	派遣:湖西大学へ学生研修団	8/19～8/27
中国	受入:江蘇省無錫揺橋中学研修団	11/23～11/26
中国	受入:江蘇省無錫運河実験中学研修団	12/12～12/19
韓国	受入:全南女子商業高校生徒研修団	1/17～1/19
韓国	受入:木洞高校高校生訪日研修団	1/15～1/18
台湾	派遣:致理技術学院へ学生研修団	3/6～3/12

■国別留学生内訳　（2017年5月1日現在）



総数:４１７名(１５カ国)

■海外交流協定校（2018年3月31日）

国　名	教　育　交　流　協　定　校	校数
中　国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求実職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院、河南建城学院	14校
	（留学生募集に関する提携校） 北京平成日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、深圳職業技術学院、江蘇卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、吉林動画学院、他	（13校）
韓　国	慶一学園、金剛学園（永同大学、亨硯高校）、鶴山学園（東ソウル大学）、金龍学園（徳園女子高校、徳園芸術高校）、桂林学園（正明高校）、清錫学園（清州大学）、純心教育財団（純心高校）、湖西学園（湖西大学）、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校、礼ーデザイン高等学校	15校
台　湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理科技大学、新北市立新北高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学、ムーアパークカレッジ	6校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
ｽﾘﾗﾝｶ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バーリカウィッダャーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール校	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
ｵｰｽﾄﾘｱ	ヨハネス･ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
ｼﾝｶﾞﾎﾟｰﾙ	ニー･アン･ポリテクニック、シンガポール・ポリテクニック	2校
ベルギー	ゲント王立美術アカデミー	1校
タ　イ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール、ワライラック大学	3校
ﾌｨﾘﾋﾟﾝ	フィリピン国立大学ロスバニョス校	1校
フランス	リヨンＩ大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
ｵｰｽﾄﾗﾘｱ	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
ｺﾝｺﾞ民主共和国	高等技術大学	1校
ﾏﾚｰｼｱ	マラ工科大学医学部	1校
ﾓﾝｺﾞﾙ	モンゴル科学アカデミー古生物学研究センター、モンゴル国立教育大学	2校
ﾒｷｼｺ	日本メキシコ学院	1校

組織

■組織

２０１７年４月１日付で、学園総合企画局に特命プロジェクトチームが新設され、「加計学園医療教育総合センター(仮称)設置準備委員会」を立ち上げました。

本委員会では、学園が所有する医療教育関連機器等の共同利用の有効性を探り、医療教育に携わる教育職員の共同研究、共同授業を通した教育研究の更なる質的向上方策を検討しました。

医療教育の質的向上方策並びに検討過程で顕在化した教育全般に係る課題も含め、本委員会の検討結果を理事長に上申し、具体的な質的向上案策定、教育課題の解決に向けて継続的に検討することとなりました。

■加計学園理事・監事・評議員概況

（単位：人）

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9～13	7	3	10
監事	2		2	2
評議員	23～32	26	4	30

(2017年5月1日現在)

■役員について

2018年3月31日：内田修心専務理事退任

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

昭和30年4月	加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
昭和36年9月	学校法人加計学園設置認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
昭和37年4月	岡山電機工業高等学校開校（全日制、電気科・電子工業科）　初代校長に神崎栄一郎就任
昭和39年1月	岡山理科大学設置認可
昭和39年2月	岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を岡山理科大学附属高等学校に名称変更
昭和39年4月	岡山理科大学開学（理学部応用数学科、化学科）　初代学長に加計勉就任
昭和42年4月	岡山理科大学附属高等学校第２代校長に内藤一人就任
昭和44年12月	真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
昭和48年10月	学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示の変更により、岡山市理大町と町名変更
昭和49年4月	岡山理科大学大学院理学研究科修士課程（化学専攻、応用物理学専攻）を設置
昭和49年4月	岡山理科大学附属高等学校第３代校長に中尾寿夫就任、全寮制特別学級を全寮学級に名称変更
昭和50年4月	岡山高等建築専門学院設置認可
昭和50年5月	岡山高等建築専門学院開校（建築学科夜間部定時制）　初代院長に中尾寿夫就任
昭和51年4月	岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により岡山高等建築専門学校に名称変更
昭和53年4月	岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）材質理学専攻を設置
昭和55年4月	岡山理科大学第２代学長に、奥田毅就任
昭和55年4月	岡山理科大学附属高等学校第４代校長に松本卓三就任
昭和55年4月	岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第２代校長に片山誠二就任
昭和55年7月	寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
昭和59年4月	岡山理科大学第３代学長に、黒谷寿雄就任
昭和61年4月	岡山理科大学工学部設置
昭和61年4月	岡山理科大学附属高等学校第５代校長に三宅寛就任
昭和61年4月	岡山高等建築専門学校を岡山理科大学専門学校に名称変更
平成2年4月	岡山理科大学第４代学長に、加計勉就任
平成2年4月	岡山理科大学大学院の理学研究科（修士課程　機械理学専攻、電子理学専攻、博士課程　システム科学専攻）を改組し、工学研究科（修士課程機械工学専攻、電子工学専攻、応用化学専攻、博士課程　システム科学専攻）を設置

平成4年1月	岡山理科大学附属高等学校第６代校長に加計晃太郎就任
平成4年4月	岡山理科大学附属高等学校第７代校長に渡辺己巳生就任
平成6年12月	倉敷芸術科学大学設置認可　初代学長に谷口澄夫就任
平成7年4月	倉敷芸術科学大学開学（芸術学部、産業科学技術学部、教養学部）
平成9年4月	岡山理科大学総合情報学部を増設
平成9年12月	玉野看護福祉総合専門学校設置認可
平成10年4月	玉野看護福祉総合専門学校を開校（保健看護学科、介護福祉学科）　初代校長に金政泰弘就任
平成10年4月	岡山理科大学附属高等学校第８代校長に三木輝知就任
平成10年4月	岡山理科大学専門学校第３代校長に村上侑就任
平成11年4月	倉敷芸術科学大学第２代学長に土井章就任
平成11年4月	倉敷芸術科学大学大学院開設（芸術研究科、産業科学技術研究科、人間文化研究科）
平成12年4月	倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に名称変更
平成12年4月	岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
平成13年1月	学校法人加計学園第２代理事長・総長に加計晃太郎就任
平成13年4月	岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科（情報科学専攻・シミュレーション物理専攻・生物地球システム専攻・社会情報専攻）設置
平成13年4月	倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に芸術制作表現専攻博士（後期）課程、産業科学技術研究科に計算機科学専攻博士（後期）課程・機能物質化学専攻博士（後期）課程設置
平成13年4月	玉野看護福祉総合専門学校を、玉野総合医療専門学校に名称変更
平成13年4月	岡山理科大学第５代学長として、山村泰道就任
平成13年9月	岡山理科大学附属中学校設置認可
平成14年4月	倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
平成14年4月	岡山理科大学附属高等学校第９代校長に北尾正幸就任
平成14年4月	岡山理科大学専門学校第４代校長に逢坂一正就任
平成14年4月	岡山理科大学附属中学校初代校長に善木道雄就任
平成15年4月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部コンピュータ情報学科（通信教育課程）、国際教養学部起業学科（通信教育課程）を設置
平成15年11月	千葉科学大学設置認可
平成16年3月	倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
平成16年4月	岡山理科大学第６代学長に宮垣嘉也就任
平成16年4月	倉敷芸術科学大学生命科学部生命科学科、健康科学科を設置
平成16年4月	倉敷芸術科学大学国際教養学部教養学科及び起業学科募集停止
平成16年4月	倉敷芸術科学大学国際教養学部起業学科（通信教育課程）募集停止
平成16年4月	千葉科学大学開学

平成16年4月	千葉科学大学初代学長に平野敏右就任
平成16年4月	倉敷芸術科学大学専門学校開校
平成16年4月	倉敷芸術科学大学専門学校初代校長に岡本繁通就任
平成17年4月	倉敷芸術科学大学第３代学長に添田喬就任
平成17年4月	岡山理科大学附属高等学校第１０代校長に橋爪道彦就任
平成17年4月	岡山理科大学附属中学校第２代校長に新倉正和就任
平成17年4月	岡山理科大学専門学校第５代校長に圓堂稔就任
平成17年4月	玉野総合医療専門学校第２代校長に岡田茂就任
平成19年4月	倉敷芸術科学大学専門学校第２代校長に伊藤敏夫就任
平成20年4月	千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置
平成20年4月	倉敷芸術科学大学専門学校を倉敷 食と器 専門学校に名称変更
平成20年4月	岡山理科大学第７代学長に波田善夫就任
平成21年4月	岡山理科大学専門学校第６代校長に小林正文就任
平成22年3月	倉敷芸術科学大学国際教養学部（教養学科、起業学科、起業学科（通信教育課程））を廃止
平成22年4月	千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
平成22年4月	千葉科学大学第２代学長に赤木靖春就任
平成22年4月	玉野総合医療専門学校第３代校長に高井研一就任
平成22年4月	倉敷 食と器 専門学校第３代校長に川上雅之就任
平成23年4月	倉敷 食と器 専門学校第４代校長に亀井秀人就任
平成23年10月	倉敷芸術科学大学第４代学長に唐木英明就任
平成24年4月	岡山理科大学生物地球学部設置
平成24年4月	岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科募集停止
平成24年4月	千葉科学大学大学院薬科学研究科を薬学研究科に名称変更、薬学科（6年制）を基礎とした薬学専攻博士課程（4年制一貫）を設置
平成24年4月	千葉科学大学危機管理学部に環境危機管理学科及び動物危機管理学科を設置
平成24年4月	岡山理科大学附属高等学校第１１代校長に宮垣嘉也就任
平成24年4月	岡山理科大学附属中学校第３代校長に位田隆久就任
平成24年4月	岡山理科大学専門学校第７代校長に村岡正就任
平成24年4月	倉敷芸術科学大学別科に調理師別科、製菓衛生師別科設置
平成25年3月	倉敷 食と器 専門学校閉校
平成26年4月	倉敷芸術科学大学別科　調理師別科、製菓衛生師別科募集停止
平成26年4月	千葉科学大学看護学部設置
平成26年4月	認可外保育所　御影インターナショナルこども園　開園
平成26年4月	倉敷芸術科学大学第５代学長に土井章就任
平成27年4月	倉敷芸術科学大学第６代学長に河野伊一郎就任

平成27年4月	岡山理科大学附属中学校第４代校長に河村定彦就任
平成27年4月	玉野総合医療専門学校第４代校長に平井義一就任
平成28年4月	岡山理科大学第８代学長に柳澤康信就任
平成28年4月	岡山理科大学教育学部初等教育学科、中等教育学科を設置
平成28年4月	千葉科学大学第３代学長に木曽功就任
平成28年4月	岡山理科大学附属高等学校第12代校長に洲脇史朗就任
平成29年3月	倉敷芸術科学大学芸術学部美術工芸学科を廃止
平成29年3月	倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科修士課程工芸専攻を廃止
平成29年3月	千葉科学大学危機管理学部動物・環境システム学科を廃止
平成29年4月	岡山理科大学経営学部経営学科を設置
平成29年4月	岡山理科大学総合情報学部社会情報学科募集停止
平成29年4月	倉敷芸術科学大学危機管理学部危機管理学科を設置
平成29年4月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科募集停止
平成29年4月	倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科計算機科学専攻修士課程及び博士（後期）課程募集停止
平成29年4月	千葉科学大学危機管理学部工学技術危機管理学科を航空技術危機管理学科に名称変更
平成29年4月	岡山理科大学専門学校第８代校長に奥田宏健就任
平成29年4月	岡山理科大学附属高等学校電気情報科を廃止
平成29年4月	岡山理科大学総合情報学部生物地球システム学科を廃止
平成29年4月	岡山理科大学大学院総合情報研究科修士課程生物地球システム専攻を廃止
平成30年3月	岡山理科大学理学部理学専攻科を廃止
平成30年3月	倉敷芸術科学大学産業科学技術学部観光学科を廃止
平成30年3月	倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科を廃止
平成30年3月	倉敷芸術科学大学大学院産業科学技術研究科修士課程計算機科学専攻を廃止
平成30年3月	千葉科学大学薬学部薬科学科を廃止

■設置校概況

2017年5月1日現在
（単位：人）

区　　分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学	6,049	6,238	315	215	530
（岡山市北区理大町1-1）					
大学院	394	216		102（本部）	
理学研究科	191	107		113（理大）	
工学研究科	147	74			
総合情報研究科	32	18			
生物地球科学研究科	24	17			
学部	5,655	6,022			
理　学　部	2,145	2,235			
工　学　部	2,040	2,157			
総合情報学部	580	658			
生物地球学部	500	559			
教育学部	260	269			
経営学部	130	144			
倉敷芸術科学大学	1,998	1,373	95	61	156
（倉敷市連島町西之浦2640）					
大学院	96	24			
芸術研究科	32	10			
産業科学技術研究科	34	8			
人間文化研究科	30	6			
学部	1,782	1,345			
芸術学部	424	324			
産業科学技術学部	284	108			
生命科学部	984	846			
危機管理学部	90	67			
大学院（通信制）	120	4			
芸術研究科　修士課程	20	1			
産業科学技術研究科　修士課程	40	0			
人間文化研究科　修士課程	60	3			
千葉科学大学	2,466	1,943	140	56	196
（千葉県銚子市潮見町3）					
大学院	66	25			
薬学研究科	47	7			
危機管理学研究科	19	18			
学部	2,400	1,918			
薬学部	880	720			
危機管理学部	1,200	851			
看護学部	320	347			
岡山理科大学附属高等学校	2,100	1,271	66	15	81
全日制	1,500	1,093			
通信制(1～3年定員:600名)	600	178			
岡山理科大学附属中学校	240	143	13		13
岡山理科大学専門学校	490	345	12	8	20
工業専門課程(建築)	120	116			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程 (動物看護､ﾄﾘﾐﾝｸﾞ､ﾄﾞｯｸﾞ､ｱｸｱ)	370	229			
玉野総合医療専門学校	560	402	31	7	38
医療専門課程(保健看護､理学療法､作業療法)	480	385			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	17			
合　計	13,903	11,715	672	362	1,034

※別科、専攻科等除く

学校法人　加計学園　法人本部	収容定員	在園者数		こども園教職員	
収益事業					
（御影インターナショナルこども園）	126	97		(13)	

()は本部職員内数

■事務組織図（2017年5月1日）

- 総長
  - 国際交流局 — 国際室
  - 国際学術交流センター
  - 協議会
  - 加計美術館
  - 細胞病理学研究所
  - 医用科学教育センター
  - 生命動物教育センター
- 理事長 — 副理事長 — 専務理事 — 常務理事
  - 理事会
  - 評議員会
  - 監事
  - 監査室
  - 総合企画局
    - 総合企画室
    - 特命プロジェクト
  - 広報室 — 広報課
  - 秘書室
  - 新学部設置準備局 — 新学部設置準備室
  - 法人本部事務局
    - 法人総務部
      - 法人総務課
      - 給与課
      - 施設・管財課
    - 財務部 — 財政課
    - 水質管理室
    - 健康管理室 — 診療所
    - 研修室 — 研修・システム課
    - 渉外部
    - 危機管理室
    - 広島連絡所
    - 東京事務所 — 東日本地区広報室
    - 特命事業推進室
    - 収益事業部 — 御影インターナショナルこども園
  - 岡山理科大学 — 大学事務局
    - 企画室
      - 秘書課
      - IR・企画課
    - 庶務部
      - 庶務課
      - 環境施設課
    - 学部運営事務室 — 学部運営事務課
    - 経理部 — 経理課
    - 入試広報部 — 入試広報課
    - 教学支援室
      - 教務課
      - 教育連携支援課
      - 資格取得支援課
      - グローバル教育支援課
    - 学習支援センター
    - 学生支援室
      - 学生課
      - コミュニケーション支援課
    - キャリア支援センター
    - 健康管理センター
    - 研究・社会連携室
      - 研究・社会連携課
      - 共同施設運営課
    - 情報処理センター — 運用管理課
    - 図書館事務室 — 事務課
    - 生命動物教育センター
    - 医用科学教育センター
  - 倉敷芸術科学大学
    - IR・企画室
    - 大学事務局
      - 庶務部
        - 庶務課
        - 秘書課
      - 経理部 — 経理課
      - 学務部
        - 教務課
        - 学生課
      - キャリアセンター
      - 入試広報部 — 入試広報課
    - 教育推進センター
    - 学外連携センター
    - インターナショナルセンター — 留学生課
    - 図書館事務室 — 事務課
    - 臨床検査研究所
    - 医用科学教育センター
    - 生命動物教育センター
    - 健康支援センター
      - 健康支援課
      - 特別支援課
    - 加計美術館
  - 千葉科学大学
    - 大学事務局
      - 庶務部 — 庶務課
      - 企画室
        - 秘書課
        - IR・企画課
      - 経理部 — 経理課
      - 学務部
        - 教務課
        - 学生課
        - 国際交流課
      - 入試広報室 — 入試広報課
      - キャリアセンター
    - 図書館事務室 — 事務課
    - 危機管理室
    - 健康管理センター
    - 学習支援センター
    - 教職・学芸員センター
    - 学外連携ボランティア推進室
    - 医用科学教育センター
    - 生命動物教育センター
  - 岡山理科大学附属中学校・高等学校
    - 事務部
      - 事務課
      - 通信制事務課
    - 生命動物教育センター
    - 加計三和研修所
  - 岡山理科大学専門学校
    - 事務室
    - 生命動物教育センター
  - 玉野総合医療専門学校
    - 事務室

財務関係

■資金収支計算書

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

収入の部　（単位：円）

科目	金額
学生生徒等納付金収入	15,492,279,454
手数料収入	297,887,062
寄付金収入	69,348,356
補助金収入	6,311,083,083
資産売却収入	400,000,000
付随事業・収益事業収入	168,435,850
受取利息・配当金収入	40,233,309
雑収入	552,411,557
借入金等収入	4,701,970,000
前受金収入	2,141,464,870
その他の収入	1,330,689,795
資金収入調整勘定	△ 2,878,556,859
前年度繰越支払資金	19,287,637,969
計	47,914,884,446

支出の部　（単位：円）

科目	金額
人件費支出	11,645,713,951
教育研究経費支出	4,088,587,328
管理経費支出	1,523,636,222
借入金等利息支出	61,718,920
借入金等返済支出	1,915,875,000
施設関係支出	13,972,806,500
設備関係支出	3,086,420,679
資産運用支出	900,289,055
その他の支出	1,791,034,551
資金支出調整勘定	△ 8,613,277,725
翌年度繰越支払資金	17,542,079,965
計	47,914,884,446

■事業活動収支計算書

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：円）

科目			金額
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	15,492,279,454
		経常費等補助金	2,028,172,083
		その他収入	1,052,964,523
		計	18,573,416,060
	支出	人件費	11,709,561,674
		教育研究経費	5,773,678,136
		管理経費	1,973,016,673
		その他支出	6,632,975
		計	19,462,889,458
	教育活動収支差額		△ 889,473,398
教活外	収	受取利息等	40,233,309
	支	借入金利息等	61,718,920
	教育活動外収支差額		△ 21,485,611
経常収支差額			△ 910,959,009
特別	収	その他の特別収入等	4,323,438,330
	支	資産処分差額等	871,584,905
	特別収支差額		3,451,853,425

基本金組入前当年度収支差額	2,540,894,416
基本金組入額合計	△ 5,604,085,857
当年度収支差額	△ 3,063,191,441
前年度繰越収支差額	△ 14,923,053,087
基本金取崩額	0
翌年度繰越収支差額	△ 17,986,244,528

平成29年度(当年度)の事業活動収支の概要

基本金組入前当年度収支差額(注1)は、学校法人の事業活動の結果、2540百万円のプラスとなりましたが、基本金(注2)組入額が5604百万円ありましたため、当年度収支差額は3063百万円のマイナスとなりました。

基本金組入額が、5604百万円と多額に発生した理由は、当年度において多額の建設投資等を実施し、その取得について、自己資金で取得したものについて、基本金として組み入れする会計処理を必要とされるため、組み入れしたものであります。従って、当年度の経営状況を判断するにあたり、基本金組入前当年度収支差額2540百万円のプラスが、より実態を表現しております。

(注1)　基本金組入前当年度収支差額
基本金組入前当年度収支差額とは、学校法人会計独特の表現であり、株式会社でいえば、税引前当期純利益におおむね該当します。

(注2)　基本金
株式会社の資本金とは異なり、学校法人は、学校活動のために必要な教育施設等（土地、建物等）を継続的に保持する必要があり、そのために基本金を株式会社等にいう税引前純利益から組み入れすることになります。その結果、単年度に多額の教育施設投資を実施すると一時的に基本金組入額が増加し、その結果、当年度収支差額は、マイナスとなることがあります。当年度は、この状況に該当します。

■貸借対照表（平成30年3月31日）

資産の部 （単位：円）

科　　　目	金　　額
固定資産	83,077,994,191
有形固定資産	77,522,022,453
特定資産	4,265,895,052
その他の固定資産	1,290,076,686
流動資産	19,671,622,485
資産の部合計	102,749,616,676

負債の部 （単位：円）

科　　　目	金　　額
固定負債	20,947,391,971
流動負債	9,439,125,121
負債の部合計	30,386,517,092

純資産の部 （単位：円）

科　　　目	金　　額
基本金	90,349,344,112
繰越収支差額	△ 17,986,244,528
純資産の部合計	72,363,099,584
科　　　目	金　　額
負債及び純資産の部合計	102,749,616,676

■財産目録（平成30年3月31日）

（単位：円）

科　　　目	金　　額
一資産額	
（一） 基本財産	77,621,489,714
１．土地	19,540,488,587
２．建物	41,968,215,888
３．構築物	2,647,131,757
４．教具･校具･備品	5,639,151,158
５．ソフトウェア	93,700,061
６．図書	7,071,752,132
７．車両運搬具･船舶舟艇	22,012,613
８．施設利用権	5,767,200
９．建設仮勘定	633,270,318
（二） 運用財産	25,128,126,962
１．預金、現金	17,542,079,965
２．特定資産	4,265,895,052
３．有価証券	1,395,791,093
４．出資金	158,859,400
５．貯蔵品	1,825,820
６．未収入金	629,866,073
７．前払金	91,205,062
８．借地権	388,140,000
９．仮払金	10,854,472
１０．差入保証金	98,322,070
１１．長期貸付金	319,000,000
１２．収益事業元入金	226,287,955
合　　　計	102,749,616,676
二負債額	
１．固定負債	20,947,391,971
(1)長期借入金	13,497,852,000
(2)学校債	4,830,000
(3)長期未払金	3,529,834,999
(4)退職給与引当金	3,914,874,972
２．流動負債	9,439,125,121
(1)短期借入金	997,575,000
(2)学校債	540,000
(3)未払金	5,753,573,979
(4)前受金	2,141,464,870
(5)預り金	545,971,272
(6)仮受金	0
合　　　計	30,386,517,092

■財務比率

事業活動収支計算書（2014年度までは消費収支計算書）及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示した。

区分 分類	区分 比率	区分 算式（×100）	2013年度	2014年度	区分 分類	区分 比率	区分 算式（×100）	2015年度	2016年度	2017年度
貸借対照表	消費収支差額構成比率	消費収支差額 / 総資金	△18.3%	△17.1%	貸借対照表	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 / 総負債＋純資産	△16.0%	△16.6%	△17.3%
	基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	89.8%	88.7%		基本金比率	基本金 / 基本金要組入額	85.9%	87.3%	79.7%
	固定比率	固定資産 / 自己資金	91.0%	94.1%		固定比率	固定資産 / 純資産	99.3%	98.4%	114.8%
	固定長期適合率	固定資産 / 自己資金＋固定負債	77.3%	78.2%		固定長期適合率	固定資産 / 純資産＋固定負債	80.2%	81.2%	89.0%
	流動比率	流動資産 / 流動負債	473.7%	528.3%		流動比率	流動資産 / 流動負債	405.9%	388.0%	208.4%
	前受金保有率	現金預金 / 前受金	830.3%	803.7%		前受金保有率	現金預金 / 前受金	865.2%	860.1%	819.2%
	総負債比率	総負債 / 総資産	19.9%	21.0%		総負債比率	総負債 / 総資産	24.1%	22.5%	29.6%
	負債率	総負債－前受金 / 総資産	16.9%	18.1%		負債率	総負債－前受金 / 総資産	21.3%	20.0%	27.5%
	基本金実質組入率	自己資金 / 基本金要組入額	73.1%	72.9%		基本金実質組入率	純資産 / 基本金要組入額	70.9%	71.9%	63.8%
消費収支計算書	人件費比率	人件費 / 帰属収入	59.7%	57.8%	事業活動収支計算書	人件費比率	人件費 / 経常収入	60.3%	59.9%	62.9%
	教育研究経費比率	教育研究経費 / 帰属収入	29.3%	27.8%		教育研究経費構成比率	教育研究経費 / 事業活動支出	28.2%	29.2%	28.3%
	管理経費比率	管理経費 / 帰属収入	9.5%	10.8%		管理経費比率	管理経費 / 経常収入	9.0%	9.9%	10.6%
	消費支出比率	消費支出 / 帰属収入	100.6%	97.5%		事業活動支出比率	事業活動支出 / 事業活動収入	97.7%	84.1%	88.9%
	経常経費依存率	消費支出 / 学生生徒等納付金	124.8%	123.4%		経常経費依存率	事業活動支出 / 学生生徒等納付金	119.7%	122.7%	131.7%
	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 帰属収入	80.6%	79.0%		学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	81.8%	82.2%	83.2%
	寄付金比率	寄付金 / 帰属収入	0.5%	2.4%		寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	0.6%	18.5%	0.3%
	補助金比率	補助金 / 帰属収入	11.6%	12.1%		補助金比率	補助金 / 事業活動収入	9.3%	8.4%	8.8%
	基本金組入率	基本金組入額 / 帰属収入	4.4%	0.7%		基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	2.5%	20.5%	24.5%

■国庫補助金等

（単位：千円）

設置校名	①経常費補助金	②大型機器補助金	③ＧＰ等選定事業	その他国庫補助金	地方公共団体補助金	合計
法人本部					4,194,965	4,194,965
岡山理科大学	1,025,474	37,360	2,500	5,148	553	1,071,035
倉敷芸術科学大学	238,807		10,250		135	249,192
千葉科学大学	329,883	38,918	5,749	3,001	274	377,825
岡山理科大学附属高等学校				7,768	324,018	331,786
岡山理科大学附属中学校					62,075	62,075
岡山理科大学専門学校					263	263
玉野総合医療専門学校					23,942	23,942
合　　計	1,594,164	76,278	18,499	15,917	4,606,225	6,311,083

①経常費補助金　・・・ 私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・ 私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③ＧＰ等選定事業・・・ 大学改革推進等補助金（戦略ＧＰ、教育ＧＰ等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託研究	共同研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	24 件	57 件	77 件	120,500 千円
理学部	2	13	30	39,390
工学部	10	26	18	32,370
総合情報学部	0	2	5	6,630
生物地球学部	8	3	8	20,540
教育学部	1	0	5	3,900
経営学部	0	3	2	2,470
附属施設	3	10	7	12,350
その他	0	0	2	2,850
倉敷芸術科学大学	6	4	6	28,743
芸術学部	3	1	2	7,053
産業科学技術学部	0	0	1	1,014
生命科学部	1	2	3	16,976
危機管理学部	2	1	0	3,700
千葉科学大学	9	8	22	20,085
薬学部	5	6	7	9,165
危機管理学部	4	2	7	4,745
看護学部	0	0	8	6,175
合　　計	39	69	105	169,328